

時間	映像		
00:00	テロップ	<p>■ナレーション</p> <p>皆さんは「里親」というのを知っていますか…？ こちらの夫婦は里親。子供は里子です。</p>	
00:15	里親 I さん	<p>■里親 I さん</p> <p>スティーブですアメリカのシアトルから来ました。 いま日本で子育てをしています。こちらは妻です。 妻のミクです。里親になって半年くらいがたちます。</p> <p>■ナレーション</p> <p>2人の大事な成長記録、そこにはこんな喜びの文字</p> <p>■里親 I さん</p> <p>日々の成長を見る事が出来て、それに寄り添ってとても楽しいね。うん（二人） 仕事から帰って来ていつもすごい笑顔見せてくれるので自分も嬉しくなる。</p>	
01:05	幸せを感じる時	<p>■ナレーション</p> <p>そこには沢山の幸せがありました。</p>	
01:17	里親 H さん	<p>■里親 H さん</p> <p>私たちには実子がないから…親になれたこと。 一番いいのは、私たちを親にしてくれた、ということかな。</p>	
01:29	里親 O さん	<p>■里親 O さん</p> <p>里子たちがいなかったら寂しい人生だったんじゃないかな。 それなりにはあると思うんですけど、やっぱり奥行きというか、行動半径というか、考え方というか、そういうのが広まるというか、そういうところが、里親としてのとてもプラスになって人生においても豊かになっていると思うんですよね</p>	
01:55	里親 K R さん	<p>■里親 K R さん</p> <p>最初は本当に不安でしかなかったのですが、最初の半年や1年くらいはもうただがむしゃらに頑張るしかないという感じはあったんですけど、今はすごく楽しいですし、毎日あたたかい気持ちになることも多</p>	

02:17	タイトル	<p>いですし里親になって良かったなっていうのはすごく感じています。</p> <p>■ナレーション 子どもたちの未来のためにぜひ知って欲しい事があるんです。</p>	
02:30		<p>■ナレーション 今、日本全国には、虐待や保護者の病気、経済的な理由など様々な事情で自分の家族と暮らせない子どもたちがいます。 そんな子供たちを『公的な責任のもと社会全体で養育していく』ことを<社会的養護>といいます。</p>	
02:58	グラフ	<p>ここ札幌市では、子どもたちのおよそ7割が施設に、そしておよそ3割の子どもたちが里親に迎えられて日々の生活を送っています。</p> <p>■ナレーション 里親には、主に4つの種類がありますが、中でも『養育里親』は「子どもが自立する」または「家族の元に戻る」までの一定期間、親の代わりとなって共に暮らし子どもたちを育てるというものです。</p>	
03:35	4画面	<p>■ナレーション 先ほど話してくれた皆さんも「養育里親」です。 では、子供にとって大切な環境とは何なのでしょう？</p>	
03:50	興正学園	<p>■ナレーション これまで、多くの子どもたちを見てきた児童養護施設興正学園の秦施設長が教えてくれました。</p>	
04:00	秦施設長	<p>■秦施設長 様々な事情で、お家で暮らすことができなくなってしまった子どもたちにとって次暮らす場所はどんな場所なんだろう、それはすごく不安だったり心配だったりだと思うんです。その時に受け入れ先が今までの生活の場所と同じような場所だったら子供たちはより安心や安全や寂しさを紛らわすことができる。そういう意味で家庭的な養育環境が整っているというのはとても大事な事だと思っています。</p>	
04:37	文字	<p>■ナレーション 里子にとって安心・安全な新しい暮らし。 そこには里親になるきっかけ、そして里親の家族。</p>	

		<p>たくさんの人たちの様々な思いがあるのです。</p>	
04:56	里親 KR さん	<p>■里親 KR さん 子どもが、結婚して当時 16 年目だったんですが、ずっとできなかったんですね。たぶん夫婦として 2 人であることが未熟って言ったら変なんですけど、なかなか子育てをしている夫婦よりは、ちょっとそこまで夫婦の力がないのかなっていうことを考えるときが一時ありまして…で、そういうのも色々考えると子育てをしてみたいなっていうのは思いました。</p>	
05:34		<p>■ナレーション そして里子がやってきました。その子は…</p>	
05:42		<p>■里親 KR さん 言葉が最初あまり出ない子だったので、あとは痙攣を起しても常に受け止めるっていう姿勢でこっちは対応しようと思っていたので、だんだんそうするとどんどん顔が柔らかくなってきたんですね。その時はちょっとずつ心を開いてくれたのかなって思うようにはなったので、そういう時にすごくうれしさを感じました。…</p>	
06:04	里親 S さん	<p>■ナレーション そしてこちらの里親さん、きっかけは…</p> <p>■里親 S さん 小さい子どもを持つお母さん方が何人かいらっしゃって、その方々はやっぱり、みんなが、自分の命はもう仕方ない。でも、子どもを残して死ねないっていうのはずっと何人もおっしゃっていたんですね。そういう子どもをもつお母さん方に、例えば安心して子どもを託せるような人がいたら。そういうお母さん方を支えたいと思ったのが、まず里親になろうと思ったきっかけでした。</p> <p>■ナレーション そうして里親になり、現在 2 人目の里子を迎えているそうです。</p>	

		<p>■里親Sさん</p> <p>今いる子は、色々場所を転々としたのもあって、大人に対してすごく敵意をもったというか、睨みつけるような視線で見るとは思いましたよ。私もその時には里親さんする時には仕事も辞めていたので、上の二人の子育てに比べて時間がすごくあったので、1才だったので一緒に散歩に行ったりとか、ゆっくりどこかを見たりとか、公園に行ったり、ちょっとゆっくりできる時間があったんです。なので、そういうので多少ゆっくりできたっていうのもあったりとかして毎日毎日いろいろ過ごしていくうちにだんだん笑ってくるようになってきたりとか、今とかはもうみんな、自分のことが大好きで、愛されることが当たり前な子に今なってくれたんですよね。それがよかったなあって思います。</p>	
07:54	里親Tさん	<p>■ナレーション</p> <p>そして里子と共に里親自身にも変化があるようです。</p> <p>■里親Tさん</p> <p>実子の子育てをしている時にはないような、難しい問題とかも起こるかもしれないですけど、でも色んなそういう、里子に関わることを通して本当にたくさんのことを教えられますし、実子からも、「お母ちゃんは里子が来てからのほうがやさしくなった」って言われて、実子にとってもよかったと思っています。実際に里子から手紙をもらったりして、里子にどんなふうに思われてるのかなって心配してる気持ちもあったんですけども、私の話してる言葉が、彼女の心に届いてるんだなってわかって安心しました。</p>	
08:45	里親KAさん	<p>■ナレーション</p> <p>里子の成長と共に里親にも幸せの実感が訪れます。ある手紙が大切に残されていました。</p> <p>■里親KAさん</p> <p>家に来たことで成績がどんどんあがりまして、進学がより具体的になってきまして、ダメかもしれないけれど受けてみたいっていう学校を受け、そこに合格して、それで意気揚々と出て行ったんですが、その後部屋に置いてあった手紙なんですけど、「私はここで人生が変わったって。本当によかった」。っていう一文を読んだときに、目に見える成果をもらったような気がしてとても嬉しかったですよね。やっぱりうちに来たことで、その後の人生が変わった。良い方にかわったっ</p>	

09:43	里親Oさん	<p>て言ってもらえたっていうのは、やっぱりちょっとこうグッとくるものがありました。</p> <p>■ナレーション こちらの里親さんは自宅での学習エピソードを教えてくださいました。</p> <p>■里親Oさん ある時の里子なんですけども、しゃべるトレーニングと、それから暗記暗唱、記憶力の暗記ですね。そちらの方が大事だと思ひまして、外郎売のせりふを「拙者親方と申すはお立会いの内にご存じの方もござりましょうが」というセリフなんですけど、私が途中でちょっとできなくなっちゃったんですけど、最後まで5、6分やりとげまして、その時はすごく私も嬉しかったですし、子どもも充実感があってひとつの何かを成しえた、自分はやればできるんだっていう自信につながったと思うんですね。ですから、子どものやりたいっていうことをみつけて、一緒に挑戦していくっていうことが、とても重要なことかなと思ひました。</p>	
10:46	里親Mさん	<p>■ナレーション そして里子と共に育った2代目の里親さん。家庭内の問題解決についてこんな話を</p> <p>■里親Mさん 話し合いですね。ひたすら話し合いをみんなでします。主人も含めて、必要な時はおじいちゃんおばあちゃんも含めて、家庭を提供するっていうことになるので、すごく家族力が試されるんですよ。里母の立場っていうのはすごく比重重だと思うんですよ。なんですけどやっぱり一人で全部ができるかっているとそうではないので、必ず家族の協力が必要になってきます。だからやっぱり家族に、ここはやってほしいっていうことは本当に伝えて、その後は必ずありがとうございますね。感謝の気持ち。伝えてますね。そういうことがすごく大事になってくると思ひます。</p>	
11:48	イメージ映像	<p>■ナレーション 里子のまわりには、里親がいて、その家族がいる。そんな、暖かい関係を支えるためにさらに社会全体にはたくさんの支援の輪があるのです。</p>	

12:10	子育て なんです か	■ナレーション では改めて、子育てとは何だと思えますか？	
12:15	里親Hさん	■里親Hさん 子育て、楽しみ。うん。いろんなことがある。それを全部やってくれる。こんなこともあるんだ、あんなこともあるんだっていう楽しみ。うれしみ。それを与えてくれた。それが子育てかな。	
12:39	思い出の 品	～歌～	
13:44	里親Oさん	■里親Oさん やっぱり愛情なんじゃないかと思えますね。はい。子ども達に幸せになってほしいなっていう。	
13:53	里親Tさ ん	■里親Tさん いてよかったって。今はいろいろあっても、本当にそれぞれがいいし、今私たちにとってもすごく今いるっていうことも大切だなって。	
14:07	里親KA さん	■里親KAさん やっぱりたくさん子ども達との思い出とか、経験とか、そういう積み重ねの方が、すごく喜びとしては大きいかなと思います。	
14:19	里親Sさ ん	■里親Sさん やってよかったです。すごく楽しいですし、すごく、やりがいもあるっていうか、私自身が楽しいし、家族にもうちの場合は良い方法って言ったら変ですけど、すごく癒されています。	
		(以降最後までナレーション無し)	